

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成22年7月8日(2010.7.8)

【公表番号】特表2009-538448(P2009-538448A)

【公表日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-044

【出願番号】特願2009-512082(P2009-512082)

【国際特許分類】

G 03 B	21/00	(2006.01)
G 02 B	27/26	(2006.01)
G 02 B	27/28	(2006.01)
G 02 B	27/18	(2006.01)
G 02 F	1/13357	(2006.01)
G 02 F	1/13	(2006.01)
H 04 N	5/74	(2006.01)
G 02 B	3/08	(2006.01)
G 02 B	5/30	(2006.01)

【F I】

G 03 B	21/00	D
G 02 B	27/26	
G 02 B	27/28	Z
G 02 B	27/18	Z
G 02 F	1/13357	
G 02 F	1/13	5 0 5
H 04 N	5/74	K
H 04 N	5/74	B
G 02 B	3/08	
G 02 B	5/30	

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月19日(2010.5.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

a) 偏光の供給に適した第1エタンデュ値をそれぞれ含む、少なくとも第1及び第2の照明装置を備え、

第1の照明装置は、第1の色光路へ第1色の偏光を供給し、

第2の照明装置は、第2の色光路へ第2色の偏光を供給し、

前記各色光路は、

i) 前記偏光の経路内に設けられ、実質的にテレセントリックな偏光ビームを形成するレンズ素子と、

ii) 前記偏光ビームを変調して、変調済み有色ビームを形成する透光性空間光変調器と、

iii) 複数の前記変調済み有色ビームを表示画面に向ける投射レンズと、  
を備え、

前記各透光性空間光変調器のエタンデュ値が、前記照明装置に対応する前記第1エタンデュ値の15%以内、又は前記照明装置に対応する前記第1エタンデュ値よりも大きな値であるディジタル映写機。

【請求項2】

請求項1に記載のディジタル映写機であって、  
少なくとも1つの前記透光性空間光変調器は、対角寸法が約5インチ以上の活性表面を有するディジタル映写機。

【請求項3】

請求項1に記載のディジタル映写機であって、  
前記複数の変調済み有色ビームが5000ルーメンを超えるディジタル映写機。

【請求項4】

請求項1に記載のディジタル映写機であって、  
少なくとも1つの透光性空間光変調器は、磁性フォトニック結晶変調器であるディジタル映写機。